



自己評価書作成に当たっての 留意点について

2007年5月25日

自己評価担当者研修会



一般的留意事項





観点ごとの記述

- 【観点に係る状況】には客観的事実のみを記述し
- 【分析結果とその根拠理由】で自己評価する
- 大学が当然に実施している事柄に関する記述は出来るだけ簡略(あるいは省略)にして、貴学の特色が明確になるように記述して下さい。



記述はありのままを！

- 実状を **ありのまま** に記述して下さい → 評価者(Peer) → 状況が目には浮かぶ → 評価し易い
- 「**創作**」を含む記述 → 評価者(Peer) → 状況が目には浮かばない・訪問調査で実状が分かる → 心証悪化



記述は**具体的に**！

具体的でない記述の例：

- 学生による授業評価の結果を踏まえて、授業改善を実施している。
- 評価結果を改善に活かしている。
- 活発に活動している。
- 多くの成果を上げている。
- 高く評価されている。
- 学生の満足度が高い。



具体的でない記述に対しては…

- 具体的な説明を求める → 二度手間

又は

- 評価対象としない → 折角書いたのに…



資料の引用も具体的に

例：

本学の目的は、学則(資料1-1-1-A)、『小平大学概要』(別添資料1-1-1-5、p.5)、小平大学ウェブサイト(別添資料1-1-1-6、http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/1178542_833.html)、及び『学生便覧』(別添資料1-1-1-7、p.12)等に記載している。その内容は「……………」である。

資料1-1-1-A

本学の目的は、学術の中心として、……………
……………
……………。

(出典 小平大学学則)



個別留意事項





観点3-1-①

下記を踏まえて記述して下さい。

*****大学設置基準第7条(教員組織)(平成18年度改正)*****

- 1 大学は、その教育研究上の目的を達成するため、**教育研究組織の規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、必要な教員を置くものとする。**
- 2 大学は、教育研究の実施に当たり、教員の**適切な役割分担**の下で、**組織的な連携体制**を確保し、教育研究に係る**責任の所在**が明確になるように教員組織を編制するものとする。

*****大学院設置基準第8条(教員組織)(平成18年度改正)*****

.....
.....



観点3-1-②

下記を踏まえ、専任でない教員の状況も含めて記述して下さい。

*****大学設置基準第10条(授業科目の担当)(平成18年度改正)*****

- 1 大学は、教育上主要と認められる授業科目については、原則として専任の教授又は准教授に、それ以外の授業科目についてはなるべく専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させるものとする。
- 2 大学は、演習、実験、実習又は実技を伴う授業科目については、なるべく助手に補助させるものとする。

*****大学院設置基準第9条(平成18年度改正)*****

.....
.....



観点3-1-③

下記を踏まえて記述して下さい。

*****大学設置基準第13条(専任教員数)(平成18年度改正)*****

- 専任教員の数は、学部の種類及び規模並びに大学全体の収容定員に応じ定める教授、准教授、講師又は**助教**の数を合計した数以上とする。
- 「授業を担当しない教員」は専任教員の数に含めない。
- 設置基準に定める専任教員数の半数以上は原則として教授とする。



観点3-1-④

- 所謂「マル合」「合」教員に関する設問です。
- 大学院設置基準第9条及び「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」を踏まえて記述して下さい。
- **専攻ごと**の研究指導教員数及び研究指導補助教員数を**職位別**に明記して下さい。



観点3-3-①と観点5-1-③

- 観点3-3-①は「貴学における教育と研究の関係」に関する設問です。
- 観点5-1-③は「貴学における教育はカビが生えていないでしょうね」という趣旨です。

どちらも、**大学全体としての状況**を記述して下さい。



観点4-3-①

過去5年間の入学定員、志願者数、合格者数、
入学者数等を、学部・研究科別、課程別に記述
して下さい。



観点5-1-⑤、観点5-4-④、観点5-8-④など

- 「単位の安売りをしていないでしょうね」という趣旨です。
- そのためにどのような取組をしているかを記述して下さい。



観点5-1-④、観点5-2-①、観点5-5-①

GPタイプの支援プログラムに採択された取組がある
場合には記述して下さい。



資料について





必要最小限の添付資料

- 添付資料は、目次をつけて見易い形に整理し、バインダー等にまとめて下さい。
- 自己評価書に記載している内容を確認するのに必要な箇所のコピーを添付して下さい。
- シラバス、学生便覧、時間割等は各1部提出して下さい。尚、これらが電子版やWeb上でのみ提供されている場合には、印刷して提出する必要はありません。
- ウェブサイトを引用する場合には、コピーを添付するか又は URL を明示して下さい。



選択的評価事項Aについて





観点A-2-①

- 部局別の記述をした上で、大学全体としての総括を記述して下さい。
- 学術著書・論文数、講演数、共同研究の状況、学術交流の状況、科研費等の申請状況などについて記述して下さい。



観点A-2-②

- 部局別の記述をした上で、大学全体としての総括を記述して下さい。
- 高い評価を得ている業績、受賞状況、特許等の取得状況、科研費等外部資金の獲得状況(件数と金額)などについて記述して下さい。



観点A-2-③

- 部局別の記述をした上で、大学全体としての総括を記述して下さい。
- 高い評価を得ている業績の状況について記述して下さい。